

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 : 世界史 A	単位数 : 2単位
-------------	-----------

1 教科書・副教材

教科書 世界史 A (東京書籍)

2 科目の目標

各地域の歴史を学び、それぞれの地域が多様な文化を育ててきたことと、互いに結びついてきたことを知る。こうした学びをもとに、これから私たちが進んでいく道を考え、あたらしい時代を開いていく姿勢を身につけていく。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	アジア諸帝国の繁栄と ヨーロッパ	中華帝国の繁栄と東アジア 15から17世紀の東南アジア 西アジアと南アジア 16世紀のヨーロッパ ヨーロッパの主権国家体制の成立	定期考査① 13
	5月			
	6月	大西洋世界の変容とその 波及	ヨーロッパとアメリカの諸革命 産業革命と世界市場の形成 ヨーロッパの動乱の波及	定期考査② 15
	7月	産業化社会の拡大と成熟	ウィーン体制とその崩壊 国民国家への路	定期考査③ 15
	8月	アジア諸国の変貌と日本	東アジアの変容 東南アジアの変容 南アジアの変容 西アジア・アフリカの変容	
9月				
後 期	10月	帝国と民族の時代	急変する人類社会 植民地の拡大と深まる対立 アジア・アフリカの抵抗運動	定期考査④ 18
	11月	二つの世界大戦の時代	第一次世界大戦 戦後秩序の形成 世界恐慌とファシズム	
	12月	冷戦と民族独立の時代	第二次世界大戦 戦後世界の形成	期末考査⑤ 17
	1月		アジア・アフリカの民族運動 冷戦体制の動揺 冷戦の終結	
	2月		グローバル化の中の危機	
	3月			

4 評価の方法

近現代の世界について理解し、そこから現在の世界情勢と自分たちの生活について考えることができたかを、授業中の発言や考査、提出物等で総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 授業の欠課・遅刻をしないこと。
プリントをしっかりと記入し、学習に活用すること。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 : 世界史B	単位数 : 4単位
------------	-----------

1 教科書・副教材

新詳 高校世界史(山川出版社)

2 科目の目標

古代から現代に至る世界の各地域の歴史と文化を詳細に学ぶことで、現在の世界情勢を理解するとともに、今後の世界についての思考を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	人類の出現	定期考査①	26
	5月	オリエント世界 南アジア世界 東南アジア世界 東アジア世界		
	6月	中央ユーラシア 東アジアの変動 イスラーム世界	定期考査②	30
	7月	ヨーロッパ世界 ユーラシア大帝国の出現 東アジア地域の繁栄と成熟	定期考査③	30
	8月			
9月	大航海時代 ルネサンス 主権国家体制			
後 期	10月	産業革命 環大西洋革命	定期考査④	36
	11月	イギリスの覇権と欧米の国 民国家 アジアの変容		
	12月	帝国主義 世界大戦の時代	期末考査⑤	34
	1月			
	2月	東西冷戦から多極化へ グローバル化の進行		
	3月			

4 評価の方法

古代から現代にいたる世界各地の情勢について理解を深め、自分の歴史観を持つことで、現在の世界情勢と自分たちの生活について考えることができたかを、授業中の発言や考査、提出物等で総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

- ※
- ・ 授業には欠席や遅刻をせず毎回きちんと出席すること。
 - ・ 授業の内容をしっかりと聴き、ノートをとって学習を深めること。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 : 日本史A	単位数 : 2単位
------------	-----------

1 教科書・副教材

教科書 新日本史A (実教出版)

2 科目の目標

日本の近代史・現代史を学ぶことにより、現代の日本と世界が直面している政治、経済、社会、文化等の課題について、自分なりの見方、考え方ができるようになるためである。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容		考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	近代国家と社会の形成	世界と東アジア 近代国家の誕生 近代社会の形成	定期考査①	13
	5月	二つの戦争と大日本帝国	日清戦争と日露戦争 帝国形成期の社会		
	6月			定期考査②	15
	7月	帝国とデモクラシー	大正デモクラシー ヴェルサイユ体制とロシア革命		
	8月	デモクラシーの展開と帝国の変容	都市化と市民文化 東アジアの情勢と恐慌	定期考査③	15
	9月	アジアの戦争と第二次世界大戦	日中15年戦争 アジア太平洋戦争	定期考査④	18
後 期	10月	現代日本の源流	戦後世界と日本 冷戦と日米安保体制		
	12月	冷戦のなかの経済成長	高度経済成長下の日本 経済大国		
	1月	現代の日本	転換した世界のしくみ 現代日本の課題	期末考査⑤	17
	2月				
3月					

4 評価の方法

授業や課題に主体的に取り組むことができたか、また歴史の大きな流れやその背景が理解できたかを出席状態や授業態度、提出物、考査などにより総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 毎時間の授業を大切に、板書を参考に自分なりのノートを作成する。教科書等の図表や史料を読み取り、自身の歴史的考察を深めるようにする。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 : 日本史B	単位数 : 4単位
------------	-----------

1 教科書・副教材

改訂版 高校 日本史B(実教出版)

2 科目の目標

日本の原始・古代から現代までの全時代を学び、自分なりの歴史の見方、考え方を培うことで、現代の日本、世界が直面している政治、経済、社会、文化等について自分なりの見方、考え方ができるようになること。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	原始・古代 文化と国家の形成	定期考査①	26
	5月	古代国家の確立		
	6月	中世 中世社会の成立	定期考査②	30
	7月	中世社会の展開		
	8月		定期考査③	30
9月	近世 統一政権の成立			
後 期	10月	幕藩体制の展開	定期考査④	36
	11月	近代国家の成立		
	12月	大日本帝国の形成 大日本帝国の展開 15年戦争と日本・アジア	期末考査⑤	34
	1月	現代 戦後改革と高度経済成長		
	2月			
	3月			

4 評価の方法

日本の歴史の大きな流れや各時代の特色を把握することができたかを確認する。授業について、主体的に取り組んでいるか、出席や授業態度、提出物、考査などから総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 毎時間の授業を大切にし、板書を参考に自分なりのノートを作成する。また教科書等の写真や図など史料を読み取り、自分なりの歴史的考察を深めるようにする。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	地理A	単位数	2単位
-----	-----	-----	-----

1 教科書・副教材

教科書 高等学校 新地理A (帝国書院)

2 科目の目標

世界の諸地域の自然環境や人々の生活・文化について学習しながら、地理的な見方や考え方を養う。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	球面上の世界	定期考査①	13
	5月	結びつく現代世界		
	6月	多様化する人間 行動と国際社会	定期考査②	15
	7月	大縮尺の地図	定期考査③	15
	8月	自然環境		
9月	地形			
後 期	10月	気候	定期考査④	18
	11月	世界諸地域の 生活・文化		
	12月		期末考査⑤	17
	1月			
	2月	近隣諸国と日本		
	3月	地球的課題		

4 評価の方法

「思考力・判断力・表現力」、「知識・理解」、「関心・意欲・態度」について、授業、提出物、定期考査等により総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 地名を地図上で確認する習慣をつけよう。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 ;	地理B	単位数 ;	4単位
--------------	------------	--------------	------------

1 教科書・副教材

教科書	新詳地理B (帝国書院)
地図帳	標準高等地図-地図でよむ現代社会- (帝国書院)

2 科目の目標

世界・日本の地形と気候を学び、気候による農業の違いに気がつくようにする。世界各国の気候・地下資源などによる農業・工業と文化の違いを学ぶ

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	世界の地形環境	定期考査①	26
	5月			
	6月	世界の気候環境	定期考査②	30
	7月			
	8月	日本の自然環境	定期考査③	30
9月	産業活動 (1)			
後 期	10月	産業活動 (2)	定期考査④	36
	11月			
	12月	村落と都市 衣食住 世界の地域の地誌	期末考査⑤	34
	1月			
	2月			
	3月			

4 評価の方法

授業に主体的に取り組み、系統地理および地誌の基本的な知識や地理的な見方・考え方がきちんと身についたかどうかを考査、提出物、授業中の発言などから総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 地図帳を毎時間持参し、地図を通して学習を深めることが大切である。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	現代社会	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

教科書 最新現代社会 (実教出版)
 地図帳 標準高等地図―地図でよむ現代社会― (帝国書院)

2 科目の目標

現代の社会で起きている地球環境・資源・生命科学・自己の形成問題等や現代の民主政治と日本国憲法の基本的性格を学び、現代社会の諸問題について、自分なりの見方、考え方ができるようになること。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)	
前 期	4月	地球環境問題	定期考査①	14	
	5月	資源・エネルギー問題			
	6月	生命科学と情報技術の課題	定期考査②		15
	7月	青年期と自己の形成	定期考査③		
	8月	現代国家と民主政治			
	9月	日本国憲法の基本的性格			定期考査④
	11月	日本の政治機構と政治参	期末考査⑤		
12月	現代の経済社会と国民生				
1月	日本経済の特質と国民生 活				

4 評価の方法

授業について主体的に取り組む現代の諸問題について、自分の考えを持ち発表することができる。出席・授業態度・提出物・考査等を総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 日頃から新聞やニュースを見て、社会全般に関心を持つこと、また授業を大切にし板書を参考に自分なりのノートを作成し、自分の考えを発表できるようになること。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 : 倫理	単位数 : 2単位
----------	-----------

1 教科書・副教材

教科書 高等学校 現代倫理 改定版 (清水書院)

2 科目の目標

人間とはどのような存在か、人間がよりよく生きるためにはどうしたらよいか、といった課題について、世界および日本の思想を学びながら考えを深めていく。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	青年期の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義と課題 ・青年期と自己の形成 	定期考査①	13
	5月	真理の探求 神教の教え <ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシアの思想 ・ユダヤ教とキリスト教 ・イスラム教 		
	6月	古代インド・中国の思想 <ul style="list-style-type: none"> ・仏教 ・古代中国思想 	定期考査②	15
	7月	古代日本の思想 <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の宗教観・倫理観 ・仏教の受容と展開 	定期考査③	15
	8月	近世日本の思想 <ul style="list-style-type: none"> ・儒教の日本化、国学と民衆の思想 		
	9月	近代日本の思想 <ul style="list-style-type: none"> ・明治時代・大正時代の思想 ・国際社会における日本人としての自覚 		
後 期	10月	人間の尊厳 <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの思想 ・宗教改革 ・モラリスト 	定期考査④	18
	11月	科学と人間 民主主義と幸福 <ul style="list-style-type: none"> ・近代科学の方法論 ・人権思想・社会契約説 ・功利主義と社会主義思想 		
	12月	自己実現と社会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・カント、ヘーゲルの思想 ・実存主義の思想 ・プラグマティズムの思想 	期末考査⑤	17
	1月	人間と自然 <ul style="list-style-type: none"> ・生命科学と倫理 ・地球環境の危機と倫理 		
	2月	社会生活と自己 社会生活と自己 国際社会と自己 <ul style="list-style-type: none"> ・生命科学と倫理 ・地球環境の危機と倫理 ・家族・地域社会の倫理 ・国際理解、人類の福祉 		
	3月			

4 評価の方法

「思考力・判断力・表現力」、「知識・理解」、「関心・意欲・態度」について、授業への取り組み、提出物、定期考査等により総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

授業中はしっかりと話を聞いて理解し、自分の考えをもつことが大切です。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名 : 政治・経済	単位数 : 2単位
-------------	-----------

1 教科書・副教材

教科書 新版 政治・経済 (実教出版)

2 科目の目標

現代の日本の政治・経済の仕組みや国際政治・経済の諸事項について、具体的な事例を取り上げながら理解を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)	
前 期	4月	民主政治の基本原理	<ul style="list-style-type: none"> ・政治と法 ・民主政治の基本原理 ・世界の政治制度 	定期考査①	13
	5月	日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本的性格 ・基本的人権の保障 ・人権の新しい展開 		
	6月	日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> ・国会 ・内閣 ・裁判所・地方自治 	定期考査②	15
	7月	現代日本の政治 平和主義と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙制度 ・平和主義 ・沖縄問題 	定期考査③	15
	8月	現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の成立と発展 ・戦後国際政治の動向 ・多極化する世界 		
	9月	現代経済のしくみ①	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と経済主体 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみ 		
後 期	10月	現代経済のしくみ②	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済のあゆみ ・中小企業・農業・消費者問題 ・公害・環境問題 	定期考査④	18
	11月	労働と社会保障	<ul style="list-style-type: none"> ・労使関係と労働条件 ・社会保障と社会福祉 		
	12月	世界経済と日本①	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易と国際収支 ・国際経済のしくみ ・発展途上国の経済 	期末考査⑤	17
	1月	世界経済と日本②	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の国際化 ・なるほど経済 		
	2月	まとめ	まとめ		
3月					

4 評価の方法

授業への参加、提出物、定期考査等を総合的に評価する。また各事項について、知識・理解・思考力を深める努力を評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

新聞やニュースを見て、社会事象全般に関心を持つことが大切である。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	社会研究	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

図書館の書籍や新聞を活用する。また、適宜資料をコピーして配布する。

2 科目の目標

様々な科目で学習した知識・技能をもとに、国内外における諸課題の中からテーマを選び、それについて深く掘り下げ、解決の方法を考察することで、現代の社会についての理解を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)		
前 期	4月	現代の日本と世界	定期 考査①	13		
	5月	・学習の年間計画 ・現代の日本と世界の状況を把握する				
	6月				定期 考査②	15
	7月					
	8月				定期 考査③	15
	9月	調査、研究の方法 ・現代の日本および世界の課題の中から各自がテーマを選択する ・調査、研究の方法について学ぶ (文献調査、フィールドワーク、インターネットによる調査)				
後 期	10月	調査、研究の準備	定期 考査④	18		
	11月	調査研究の実践 ・調査の実践				
	12月					
	1月	・分析とまとめ				
	2月	・研究成果の発表			期末 考査⑤	17
	3月					

4 評価の方法

授業への参加や提出物等の内容から、授業の内容が理解できたか、またそれらについて考察ができたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 日頃から少しでもニュースや新聞に触れて、社会の概要・現状を知ろうとすることが大切です。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	教養社会	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

副教材 新編テーマ別資料 現代社会2017 とうほう

2 科目の目標

地歴公民科目全般を復習しながら、特に現代社会分野に重点を置き、国内外における現代の諸問題について関心を持たせるとともに主体的に考えさせて理解を深める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	現代社会	定期考査①	13
	5月	現代政治①		
	6月	現代政治②	定期考査②	15
	7月	現代政治③	定期考査③	15
	8月	現代経済①		
9月	現代経済②			
後 期	10月	現代経済③	定期考査④	18
	11月	現代経済④		
	12月	国際社会①	期末考査⑤	17
	1月	国際社会②		
	2月	国際政治③		
	3月			

4 評価の方法

授業への参加や提出物等の状況や、授業の内容が理解できたか、またそれらについて考察ができたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

日頃から少しでもニュースや新聞に触れて、社会の概要等を知ろうとする努力が大切です。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	国際社会と情報	単位数	1単位
-----	---------	-----	-----

1 教科書・副教材

適宜資料をコピーして配布。

2 科目の目標

現代社会の情報化の観点から、国内外における現代の諸問題について関心を持たせるとともに主体的に考え、情報化社会を生きる力を養う。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	情報化社会の課題		6
	5月	産業構造の変化 社会生活の変化と課題		
	6月	国際社会の現状と課題		9
	7月	国際経済の仕組み 国際政治の現状		
	8月	日本経済の歩み 日本の農業と食糧問題 労働問題		
9月	貿易の仕組み	9		
後 期	10月	情報技術の仕組み		10
	11月	課題の調査 レポートの作成		
	12月			
	1月	発表とまとめ		5
	2月	プレゼンテーション準備 レポートの発表		
3月				

4 評価の方法

授業への参加や作成課題等の内容から、授業の内容が理解できたか、ねらいとする知識や技能が身についたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 日頃から少しでもニュースや新聞に触れて、社会の概要・現状を知ろうとすることが大切です。

平成29年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	地域の歴史・地理	単位数	2単位
-----	----------	-----	-----

1 教科書・副教材

適宜資料をコピーして配布。紹介資料を読むことが望ましい。

2 科目の目標

義務教育の社会科や、地歴公民科目の学習を基礎に、地域の身近な事象についてその歴史や地理的背景を調べ理解を深める。そして自らの調べた内容と考察を、実証的に表現する。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	中信地区の自然環境 歴史区分について	定期 考査①	13
	5月	身近な事象紹介① 身近な事象紹介②		
	6月	身近な事象紹介③	定期 考査②	15
	7月	身近な事象紹介④	定期 考査③	15
8月	各自のテーマ設定			
9月	文献資料の扱い方 文献調査と経過報告			
後 期	10月	フィールドワークの仕方	定期 考査④	18
	11月	文献調査と経過報告		
	12月	論述	期 末 考 査⑤	17
	1月	論述		
	2月	発表		
3月				

4 評価の方法

授業への参加や提出物、経過報告の内容から、授業の内容が理解できたか、またそれらについて考察と適切な表現ができたかを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

地域の身近なものにも歴史がある、という視点を常に持って授業に取り組みたい。

